

## 参考

### 第18回若年者ものづくり競技大会「メカトロニクス」職種 運営要領

#### 競技運営の基本的考え方

- (1) 『世界No.1』のメカトロニクス技術者を育成する競技会とする。
- (2) オープン・フェアの精神を原則とし、常に競技委員と参加チームがコミュニケーションを密に取り、競技運営を円滑に実施できるよう協力し合う。
- (3) 全国大会を円滑に運営するためのルール・要領は大会終了毎に見直しを図り、大会へ向けた運営の修正・確認をする場として、毎年、6月上旬に以下の連絡会を開催する。
  - a. 職種連絡会
    - ① 競技委員、大会参加チームの代表が参加する。
    - ② 近い将来大会に参加を予定しているチームの代表が参加可能。
    - ③ 競技内容等の検討、大会当日の役割等についても検討する。

#### 競技運営関係者

- (1) 競技運営の役割分担
  - a. 競技主査……全体運営を取りまとめる責任者。
  - b. 競技委員……主査をサポートし、各課題の具体的要領・企画・立案を担当。また、競技当日は競技説明などを担当。
  - c. 競技補佐員……競技実施にあたり運営に係わる様々な業務で主査をサポート。各課題中のクレーム対応、得点集計、他を担当。
  - d. 協力員（以後、「審査員」とする）……競技当日、各チームの審査を担当。
- (2) 第18回大会の競技運営メンバー
  - a. 競技主査 佐藤 崇志 (職業能力開発総合大学校)
  - 競技委員 市川 修 (職業能力開発総合大学校)
  - 競技委員 森口 肇 (職業能力開発総合大学校)
  - 競技委員 林 恒 (フエスト(株))
  - 競技委員 千葉 康司 (フエスト(株))
  - 競技委員 青木 敏彦 ((株)ミツバ)
  - 競技委員 遠藤 裕司 (日産自動車(株))
  - 競技委員 青柳 僚真 (トヨタ自動車(株))
  - b. 競技補佐員 主査の権限で任命する。
  - c. 審査員 参加チームの指導者（競技ルールを理解している者で生徒、学生、訓練生ではないこと）を、1名／チーム選出する。

#### 参加資格及び全国大会への推薦

大会の参加資格は、次のいずれにも該当する者とする。選考基準を満たし、本大会において成績優秀と認められたチームは、全国大会へ推薦される。

- (1) 参加申込申請時および大会開催時に日本国内の職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中の者であること。
- (2) 企業等へ就業していない生徒、学生、訓練生等であること。なお、企業等への就業経験者（メカトロニクスに係わる職種に限る）、大会開催時に就業していることが見込まれる者は参加を認めない。
- (3) 大会開催年度（4月1日を除く）に20歳以下であること。ただし、技能五輪全国大会への参加を希望する者については、大会開催年度に20歳を超える場合であっても、全国大会参加資格を有する場合、全国大会への選考を目的として、大会への参加を認める（大会表彰対象外）。

## 情報共有（メカトロニクスフォーラム、Slack）

- (1) メカトロニクス職種の情報公開、及び参加者の情報交換を目的として運営されている。
- (2) 大会参加チーム代表者は参加登録すること（選手以外）。
- (3) 登録は、氏名、企業・学校名、所属、メールアドレスを、主査宛に E メールで送信する。
- (4) ホームページのアドレス : <https://mew.skr.jp/forum/>
- (5) Slack ホームページのアドレス : <https://mechatronics-jp.slack.com/>

## 競技資料

資料名	内容	公開（改訂）時期
競技日程表	競技日程	6月上旬
競技課題と採点基準	競技課題の概要、配点、採点基準	6月上旬
持参工具等一覧	持参する機器・工具類	6月上旬
競技要領	競技の取り決め、競技方法、審査方法	6月上旬
基本設備仕様書	競技用 FA モデルの仕様（使用機器図面を含む） (注) ロボットステーション、新規ステーション、ステーション製作用部品に関する記述は、本競技に適用しない	6月上旬
タッチパネル仕様書	タッチパネル画面の仕様。	6月上旬
作業基準書	組立・配線・配管などの基準書	6月上旬
基本設備動作確認仕様書	基本設備動作確認用プログラムの仕様（サイクルタイムを含む） (注) ロボットステーションに関する記述は若年者競技大会では、課題対象外装置であるため、本競技に適用しない	6月上旬
仕様書定義集	機器の名称、仕様書で扱う語句	6月上旬
競技設備仕様書	競技大会で使用する競技用 FA モデルと持参部品の仕様	大会 1~2か月前

## 競技記録について

- (1) 主催者、報道関係者、競技委員会が、競技エリア内で撮影を行う場合がある。ただし、各チームのエリアには立ち入らない。
- (2) 各チームによる撮影は、競技エリア外から行うこと。ただし、一般の観客の妨げにならないよう配慮し、以下の要領で行うこと。
  - a. 撮影対象チームおよび三脚設置場所正面のチームの許可を得たうえで、設置者・撮影対象・設置場所を明記した札（名刺サイズ程度）を付ける。
  - b. 三脚の脚の間隔は概ね 60cm 以下、ビデオカメラの高さは 140cm 以下とする。脚を固定しても良い。
  - c. 自身のチームの撮影に限り、自身の競技エリアから電源を取って良い。ケーブルを適切に処理し、電源を他に流用しない。
  - d. ビデオカメラを手に持って撮影することは制限しない（一脚の使用可）。
- (3) ウイルス等による感染の予防上、上記の条件をさらに制限することがある。必要に応じて別途定めるものとする。

## 競技ルールについて

- (1) 支障のない範囲で、技能五輪全国大会「メカトロニクス」職種の競技ルールに近付ける。
- (2) 第 16 回大会より MPS D バージョンをベースにした課題構成とする。